

スコール・マスターズ通信

第2号
平成16年2月1日

会員アンケート調査結果の概要

企画委員会

マスターズ会員対象に11月30日締切りで行ったアンケートへの回答、要望をいただき、有難うございました。取りまとめをいただいた各地区リーダーのご尽力に感謝いたします。

おおよその集計をマスターズ事務局（金井・小俣・藤田・大島・岡本）で行いましたので概要を報告いたします。

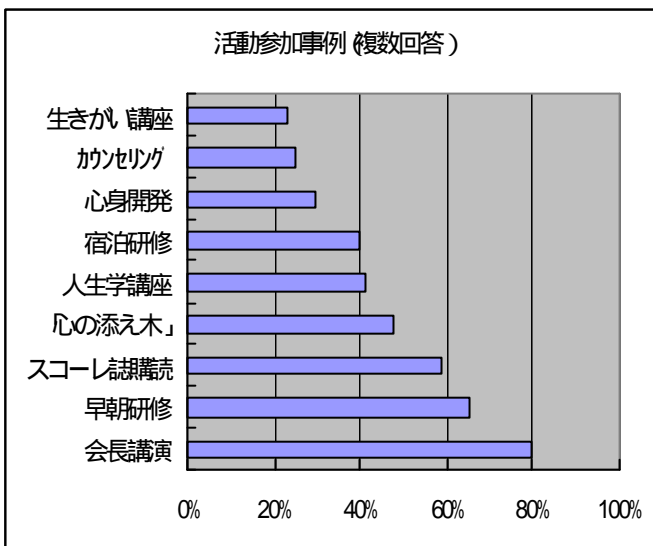
詳細報告につきましては追って、マスターズ通信第3号に掲載の予定です。ここではアンケートの主要結果の数字だけを掲載します。

ここに掲載した以外に、悩み、関心事、自分の将来展望、今後のマスターズ活動への要望等についても回答をいただいています。今後の分析にご期待ください。

年齢	割合
30代まで	9%
40代	32%
50代	24%
60代	24%
70代以上	10%
回答なし	1%

職業	割合
会社員	39%
会社役員	7%
自営	19%
公務員	5%
無職	13%
その他	5%
回答なし	12%

動機	割合
家族・友人の勧め	68%
スコールの理念に共鳴して	30%
教養・人生哲学を学ぶ	20%
師・友人を得る	22%
社会的貢献をしたい	17%
「こころの添木」テープ聴講	12%
悩み事を解決	7%
その他	6%



待望のマスターズ事務所開設

マスターズ事務所は平成15年5月に開設されました。JR八王子駅より徒歩5分と交通至便な横山町の赤坂ビル3階（1階は精肉店）にあります。

独自の事務所が開設できたのは、マスターズ会員のご協力と本部のご支援の賜ものと感謝申し上げます。小さい部屋ですがコンピューターをはじめ一通りのものがようやく揃って来ました。地元、八王子スクールも支障のない限り共用として有効活用を図っております。マスターズの新しい拠点が生れたこととなります。マスターズの活動内容の充実、会員の増強に一層努めなければなりません。

前号では地区報告として各地区の

リーダーさんより力強いメッセージが発表されました。また、スコール誌275号11頁の「私とスコール」に淑徳大学の坂巻先生が「永池会長の素晴らしいエネルギーを働き盛りの男性にも注いでくれれば世の中確実に良くなるはず」と掲載されております。スコール・マスターズ発展のためにみんなで手を取り合って頑張りましょう。（マスターズ代表幹事 村下三郎）



スコール・マスターズ活動報告

平成15年10月～平成15年12月



マスターズさわやか講座 「ちょっときらめいて人生」 東海地区で開催

東海中部地区リーダー 小寺房征

スコール・マスターズさわやか講座「ちょっときらめいて人生」と題して、平成15年11月11日(土)午後2時から2時間、伏屋社会保険労務士事務所の研修室を拝借し、スタッフとも45名のミニ講演会を、永池会長と三菱自動車販売の日本一のセールスマン、森瀬恭一氏をお迎えして開催いたしました。

森瀬氏の講演は、会社に入社した動機から始まり、3年目に新車を納入するとき事故にあい、会社の理不尽な方針に納得がいかず辞める覚悟でお客さんと接し、お客さんの信頼を以前にまして得ることが出来たこと。年間に240台販売して表彰を受けるために本社に行ったら、360台販売した人がいたこと。報奨金はお客さんのお蔭だからお客さんに返しませうと、奥さんに言われてパーティに招待したこと。一月前に父親を亡くし、親孝行をこれからしようとした時だったのになど、笑いと涙の感動の話でした。

引続き永池会長の講演に移り、「身体には栄養がいる、それと同じように、心にも栄養がいる。感動と、肯定的な体験が必要だ」と力強く説かれ、参加者に素晴らしい感銘を与えてくださいました。私たちスタッフも皆さんに喜んでいただき大変うれしく思いました。今、ここにマスターズ東海の第一歩をしるし、今後「さわやか講座」が定着し大きく育つよう皆さんの期待に応えたいと思っています。

03 川上杯 懇親ゴルフ会開催

マスターズ恒例となった「川上杯懇親ゴルフ会」が開催されました。前回、ゴルフ後の懇親の場も欲しいとの声を踏まえ、初の試みとして「箱根湯本ホテル」での宿泊懇親付となりました。

優勝は、安定した過去の戦績、実力者の花岡十九五郎氏でした。その優勝に花を添えたのが、川上哲治氏のエイジシュート(グロス83)でした。懇親会兼成績発表は、美味しい会食と和気あいの楽しい反省会?となり大いに盛り上がりましたが、サイン

「首都圏地区交流会」開催

事務局長 小俣富雄

昨年12月14日(土)、ホテル ザ・エルシィ町田にて首都圏メンバーによる「地区交流会」が開催されました。

新生マスターズにとって、全国全ての会員が参加できるシステム作りが大きな課題となっていますが、地区交流会はその礎と位置付けられています。今後可能な地区から順次開催していく予定です。

さて、首都圏の交流会は、本部から永池会長、田中常務、小川本部長(マスターズ顧問)をお迎えし、総勢24名での開催となりました。年末の懇親会も兼ね、少量(基準は各人バラツキあり)のお酒も入れたせいでしょうか、持ち時間僅か3分程度にも拘らず、全員が「入会の動機、マスターズ活動への期待・報告・決意、健康の事、家族の事、仕事の事、その他諸々の事」などを、それぞれ熱く発表したものですから、予定時間がアツという間に過ぎてしまいました。まさにパワー全開という賑やかさでした。

今後のマスターズ活動の力強い息吹を予感させられた、会員交流の一夜でした。



に記念写真にと川上氏の大サービスに一同感激、楽しい交歓の場となりました。

今回初参加の米村陽氏(八王子)小俣一郎氏(京浜)の成績も立派で、実力の石田昭義氏(多摩)大化けの伊藤英司氏(本部)等粒も揃い、次回は大混戦となることでしょう。本ゴルフ会の参加希望者は、地区リーダーにお申し出下さい。登録の上、次回案内を差し上げます。(幹事・金井 繁)

連載

生き方の美学を求めて

マスターズ副代表幹事 三橋克興

第1章 人生の節を創る

「歲月人を待たず」と云いますが、この世に生を享けて71年の歳月が過ぎました。人の一生は決して平坦ではないが、豊かで長い道には「人生哲学」と云う太い背骨が通っており、すべての行動の礎には揺るぎない信念が根を張っていることが大切です。豊かな人生哲学と豊かな感性に満ちた、人生の「節創り」が出来ればと思います。

人生80年の時代を迎え、振り返って見ますと、幼い時代に学んだ事がやはり大切になるのではないのでしょうか。子供は大人から、生徒は先生から学んで成長して行くものと思っていましたが、よく考えて見ると大人になった人、老人になった人は、一体誰から学ぶのでしょうか。それは自分自身の過去から学ぶのだと思います。自分の足跡は自分が歩いている間は、自分には見えません。それは人生を色々経験し、振り返って見た時に初めて見えてくるものです。

人間は自然から命を授かり、人生の中で心と体を携えて自然にどう帰って行くか...、それには波瀾万丈な人生を乗り越えて行かなくてはなりません。特に私は40歳代で高血圧症に悩まされ、体調を崩し、家内の協力のお蔭で、食生活から改善をし、将来への人生の方向を決めて行く大切な時期に向かって、心と体を結びつける生活習慣を心掛けてまいりました。

「平静心」を呼び起こす

人間は苦勞の多い過酷な40歳代から50歳代の中で、「平静心」を呼び起す事も大切です。これは一朝一夕に出来るものではありません。悟ると云うことは知識ではなく、数々の体験の中から生まれてくる知恵であって、よく昔から云われる様に、「迷わぬ者には悟りなし」。ですから人生を歩んで行く中で大切な

は「平静心」だと思えます。どんなに逆境に遭遇しようとも、自分の忍耐力を持って、数々の不幸な出来事と取組み、荒波にも動じない不動の姿こそが、「平静心」ではないでしょうか。

定年後の人生

自然界に季節がある様に、人生にも季節があります。青春期の春、壮年期の夏、中年期の秋、そして老年期の冬があります。季節と云うものは春夏秋冬を繰り返して行きますが、人生の四季にはそれがありません。私は自分自身の時間と云うものが、終わる日の来る事を実感として受け止めた事はありません。だからこそ楽しく豊かな人生を、送りたいと願って日々生きてきました。

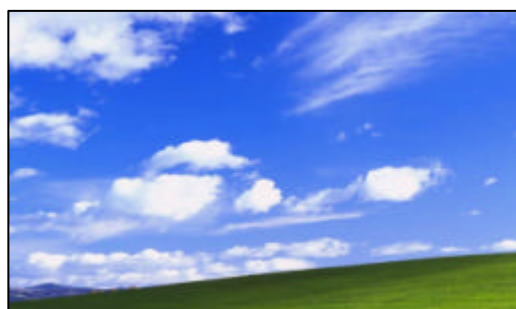
人間は誰でも長生きしたいと願っております。

これからは避けて通れない老後に向かって歩いて行かなくてはなりません。人生は尽きない山並みを前に、山また山を歩く様なものです。平坦な道は短くて息の切れる上り坂が多く、峠で一息休む事があっても、更に気合を入れて歩き続けなくてはなりません。

定年を過ぎ、そろそろ今まで航海してきた大船から離れ、夫婦と云う二人乗りのボートに移り、自力でオールを漕がなくてはなりません。これが現実の姿ではないのでしょうか。私は定年後の人生は自分の意志と計画と趣味によって、自分で選択出来る最後の人生であると思います。人間は年輪を重ねて行けば行くほど、引き続き新たな人との出会いの中から、成長していくものです。ここで始めて一味も二味も違った自分らしい「生き方の節」を作り出すことが出来ると思います。

これからも残された人生に感謝し、精一杯生きてまいります。(以下次号へつづく)

人生学講座





事務局便り

マスターズHP構想について

事務局 藤田和弘

創刊号でお知らせしていますように、マスターズ活動の情報発信源の一つとして、インターネットの利用を検討しておりますが、出来るところから始め、段階的にステップアップを図る予定です。

ホームページ(HP)構築にあたって検討している具体的な内容としては、

1. 入会案内等の内容を素材としたマスターズの活動、組織等の紹介
2. マスターズ通信等をベースとした各種行事の案内および内容報告
3. 「生きがい講座」等の生きた講演内容
4. 毎月開催の「人生学講座」の内容など
5. 会員相互の意見交換の場の提供(マスターズ活動に関するご意見、体験談の投稿など)

です。事務局は何分素人集団の集まりですので、実際に運用し、会員の皆様方からのご要望を適宜踏まえながら充実したものとしていきたいと考えます。是非、ご意見、ご感想をお寄せください。

なお、試験運用中ですが、独自サーバにてマスターズ入会案内をベースとしたHPを公開し

編集後記

今年には阪神大震災から9年目の年です。震災直後、3つの言葉が日本中にひびき渡りました。「活断層」、電気・ガス・水道の「ライフライン」、そして「ボランティア」です。

このところ東海地震をはじめとする大地震の危機の記事が多いようです。先の阪神大震災では地元で工務店を営んでいる小生の友達は、施主の了解を得て完成間際の建物に大きな浴槽を設置し、附近の住民に提供し大変喜ばれたそうです。また、南海地震では稲に火をつけ村人を津波から救った「稲むらの火」の話などが思い出されます。

「スコール・マスターズ」となって2年目の今、実施すべきことが多々あると考えますが、「ボランティア」もその1つではないでしょうか。

(広報委員・桑折能彦)

ております。是非一度ご覧になり、ご意見をいただければ幸いです。

試験運用中のマスターズHPのURL

<http://schole.ddo.jp/masters/index.html>

会員動向

事務局 大島 尚

マスターズ通信第1号に掲載した以降の会員動向について報告します。

前回報告時(5月末)の会員数は170名でしたが、10月末(アンケート発送時)で178名、12月末現在では181名となりました。3年後に1000名規模のマスターズ会員の実現を目指すにはさらなる努力が必要です。

現在、世の中もスコールの発想の必要性を求めているように感じられ、スコール活動に共感してくれる男性も多いのではないかと期待しています。

「今後の行事予定」

マスターズ事務局

平成16年度上期の行事予定は、以下のとおりです。詳細は確定次第ご案内いたします。

上期「マスターズ研修」

<日程> 4月から毎月1回

<場所> 協会本部研修室

総会及び宿泊研修

<日程> 6月19日(土)、20日(日)

<場所> 箱根湯本ホテル

「生きがい講座」

<企画>

編集：社団法人スコール家庭教育振興協会
スコール・マスターズ 広報委員会

発行人：三橋 克興

(k-mihashi@theia.ocn.ne.jp)

〒194-0013 東京都町田市原町田4-7-12

TEL042-728-7951 <http://www.schole.org>